

概要

日本と中国における交通結節点地下空間利用と防災計画

○株式会社 日建設計シビル	門前 敏典
株式会社 日建設計シビル	大森 高樹
株式会社 日建設計シビル	坂本 仁昭
株式会社 日建設計シビル	高橋 幹人
株式会社 日建設計シビル	澤田 基弘

キーワード： ①地下空間利用 ②地下防災計画 ③中国の地下空間開発

2011年3月11日、主要交通結節点地下空間には多くの群集が押し寄せ、一時的に大混乱に陥った。今後想定される都市部での大震災においては、交通結節点地下空間における事故や混乱が予想される。一方、急速に地下空間開発を進む中国において、2012年7月21日に北京市を中心とした集中豪雨が発生し、地下鉄出入口からの浸水等、都市基盤における水害対応能力が問題となった。

都市活動の基盤である交通結節点地下空間に関し、近年、地震や津波・集中豪雨等の異常気象に対する防災対策への関心が高まっている。

本論文では、まず日本における主要交通結節点地下空間の複雑さを明らかにすると共に、中国の地下空間開発計画等を紹介することで両国における地下空間利用の状況把握を行う。次に、両国における防災対策例及び防災計画を整理し、今後日本と中国においてより安全で安心な地下空間形成を実施するための考察を行う。